

令和2年1月7日
九州地方整備局
熊本河川国道事務所



国道57号熊本東バイパスにおいて 主要渋滞箇所の対策工事に着手します

国道57号 熊本東バイパス（保田窪交差点・保田窪北交差点）において、右折レーンを延ばす渋滞対策工事に着手します。

工事概要と対策効果

渋滞対策工事の概要（詳細は裏面参照）

【保田窪交差点】 上り線右折レーンを60m延伸
（普通乗用車で約8台分）

【保田窪北交差点】 下り線右折レーンを80m延伸
（普通乗用車で約22台分）

交差点内の右折誘導カラー舗装

想定される対策効果

右折レーン延伸による、直進車の進行阻害の改善

⇒渋滞緩和

⇒追突事故の防止

交差点内の右折誘導カラー舗装

⇒右折車のスムーズ化による渋滞の緩和・事故防止

【問い合わせ先】

国土交通省

九州地方整備局

熊本河川国道事務所



技術副所長

あそ う
麻生

ひろよし
宏斉

交通対策課長

やました
山下

しんいち
信一

〒861-8029

熊本県熊本市東区西原1丁目12番1号

電話：096-382-1111（代表）

渋滞対策工事の概要

位置図



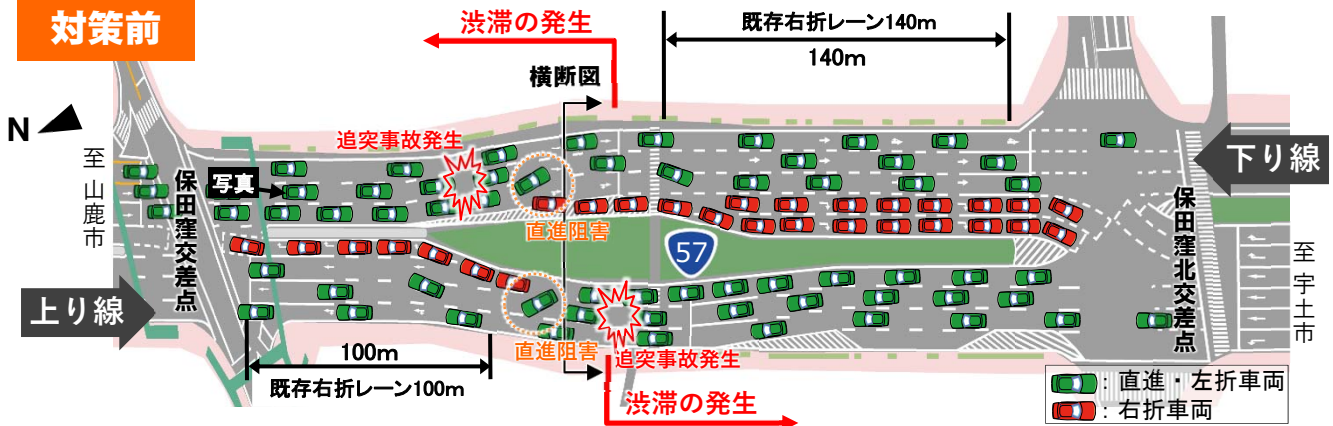
工事の概要

<工事時期：令和2年1月～6月頃まで 夜間施工>

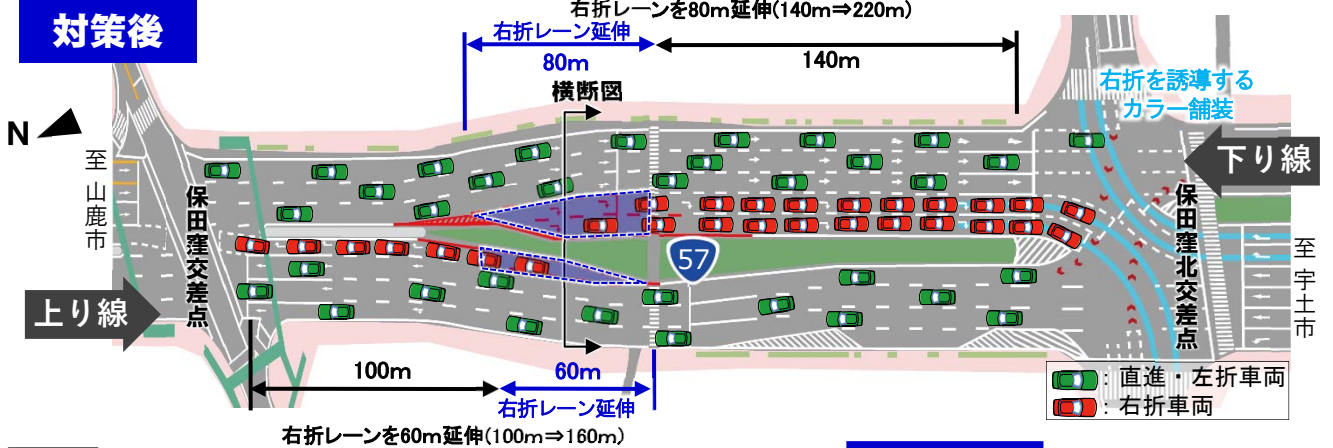
混雑時に右折車が右折レーンに収まりきれず、直進する車の進行を邪魔していることから、渋滞や事故の原因となっています。中央帯を一部撤去して、右折レーンを延ばすことで、右折車が右折レーンに収まるようになり、渋滞緩和や事故防止を図ります。また、保田窪北交差点に右折を誘導するカラー舗装を行い、車の進行を分かりやすくスムーズにして渋滞緩和や事故防止を図ります。

対策イメージ

対策前



対策後



横断面 対策前



対策後

